

寛かさい」と云ふおしかりを受けるやうなことにあつて、ケリにあつたらしいが、まさに稀に見る解雇理由ではある。其日はそれで又引上げたが現在のところ他の従業員達には未だ影響してゐないが……

全産聯の失業防止が、失業救済委員が知らぬが小畑社長誠首りは氣持のいいことはあからう、労働組合に加入する者は人間の中でも萍たしか何だとか云つてゐるんだ、の会社は、と組合の某君はへたり、その芥毒づいてゐたが……まさかね。しかも労働組合を組織したことのみによつて誠首はいさ、か東洋一も膳つ玉が小さいか。

(参考)

日本ペイントの職工待遇状態は良好とは云へないらしく、男工初任給日給一円十銭、女工五十銭で各手当三十銭。昇給率は年一割五厘か二銭位で、退職、解雇手当の規則はあいにく、従業員の語るところによれば、退職手当等はその人々によつて異つてゐるようである(五年勤続のもので三十円位支給されたのがある由)労働時間は午前七時より午後五時まで(其間休憩一時間)公休は月二回

(以上二月十七日記)

封建的親方制度職場の争議

大阪府洋今業誠友會頑張る

大阪府_下に於ける洋今製造関係の全従業員は約二千人と称されてゐるがその殆んどが封建的親方制度による職場に働いて居り所謂中間搾取の極端の下に喘いて居り、最近その従業員達によつて生活擁護の叫びがあげられつゝあつたが従業員有志によつて去る二月八日大阪中ノ島中央公会堂に於て、神州護国党労働部指導の下に大阪府洋今業誠友会なる組織体が結成され(現在誠友会加盟者約六〇〇名)(約七分は解人にして婦人その中の約半数)かねて従業員の懸案であつた工賃値上の要求を業者に迫ることにあつた。

大阪に於ける洋今製造業者は洋今組合ある事業組合に統一されてゐるが、その組合は第一部第三部に別れ、第一部は問屋、第二部は製造請負